

第1号議案

2020年度のまとめと2021年度のすすめかた

《2021年度スローガン》

事業と活動を通じた社会貢献をひろげ、
SDGs(持続可能な開発目標)の実現に貢献します

はじめに

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の中、法人の新型コロナウイルス感染症対策本部を軸に感染対策を強化し、事業・経営活動をすすめ、増収増益の成果を上げることができました。訪問診療・訪問看護の利用者増を中心に地域密着型サービスの展開、介護と医療の一体化、ICT(情報通信技術)の積極的な活用、地域の新たなつながりづくり等、コロナ禍であっても対応できる事業と活動のしくみを確立してきました。

組合員活動は、コロナ禍の中、2020年2月下旬から中断を余儀なくされましたが、新型コロナ感染対策を周知する中で、7月に再開することができました。

2021年度も引き続き、新型コロナ感染対策を重視しながら、環境変化と地域ニーズに対応し、新たな事業展開と地域活動を計画的に推進します。利用者増をはかり、多くの方にサービスをご利用いただくことで、法人理念「その人らしく、気持ちよく生きる」を実現します。

私たちは、国連が2015年に決定し、2030年までに世界的な社会問題や環境問題の解決をめざすSDGs(持続可能な開発目標)－17の目標を学び、持続可能な社会の実現に貢献します。



手指消毒にご協力お願いしま～す

《SDGs－17の目標》



SDGs/バッジ

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ① 貧困をなくそう | ⑩ 人や国の不平等をなくそう |
| ② 飢餓をゼロに | ⑪ 住み続けられるまちづくりを |
| ③ すべての人に健康と福祉を | ⑫ つくる責任、つかう責任 |
| ④ 質の高い教育をみんなに | ⑬ 気候変動に具体的な対策を |
| ⑤ ジェンダー平等を実現しよう | ⑭ 海の豊かさを守ろう |
| ⑥ 安全な水とトイレを世界中に | ⑮ 陸の豊かさを守ろう |
| ⑦ エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | ⑯ 平和と公平をすべての人に |
| ⑧ 働きがいも、経済成長も | ⑰ パートナリーシップで目標を達成しよう |
| ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

1) 2020年度のまとめ

1. 地域包括ケア^①の推進、“最期まで安心の在宅サービス”の提供

①新規事業を検討するとともに、利用者増をはかりました

○共立病院は6月から全床（40床）地域包括ケア病床^②に転換し、“地域包括ケア病院”の役割を強化しました。建て替えリニューアルの準備を推進しました。

○看護小規模多機能^③すずかぜの増改築をすすめました。

○姫路市2021年度看護小規模多機能の開設申請は、土地確保の困難により見送りました。

②経営活動は3つの柱（利用者増・コンプライアンス・サービスの質の向上）ですすめました

○2020年度決算は、事業収益51億5,490万円（予算比100.0%、前年比102.8%）、経常利益2億3,731万円（経常利益率4.6%、予算比156.1%）です。コロナ禍の中、感染対策を強化し、利用者を増やし、増収増益の成果を上げることができました。

○法人として、計画的なコンプライアンス活動^④を実施し、コンプライアンス強化につなげました。

○すべての介護事業所に導入したICT（情報通信技術）を利活用しました。テレビ会議が定着しました。

2. 多様性を認め合い、誰もが参加できる“くらしの安心ネットワーク”づくり

①健康づくり、助け合い活動

○コロナ禍の中、つながりを大切に創意工夫した活動をすすめました。

ニュースひめじ紙上でフレイル・オーラルフレイル予防^⑤を発信しました。

○「生協マルシェ」や「ハロウィンパーティー」等の新たな多世代参加型の居場所づくりイベントを企画し、開催しました。フードドライブ^⑥に継続して取り組みました。

○ひょうごまるごと健康チャレンジに取り組みました。また、禁煙ポスターコンクールには165作品が集まりました。

○事業利用委員会から「キラリハート^⑦集」を発行しました。

○サークル活動では、20年間続いた「てくてく歴史散策」が幕を閉じました。

○仲間ふやしは652名（純増-968名）、出資金ふやしは4,589万円（純増-1,391万円）の到達です。事業所の組合員利用率アップが課題です。



生協マルシェ

②くらし・平和を守る活動をすすめました

- 2020年度の原水爆禁止世界大会はオンラインで参加しました。
- くらし・平和委員会主催の「トリチウム学習会」を開催しました。
- 西播社会保障推進協議会の自治体キャラバンに法人として参画しました。



ウォーキング班会

3. “地域包括ケアを担う人づくり”の推進

①キャリアアップ育成システム確立に向けた取り組みをすすめました

- 夏に管理者研修を開催し、秋に管理者フォローアップ研修を開催しました。今後、研修内容を全部門での「キャリアアップ育成システム」の確立につなげます。

②人財確保、管理者・リーダーの育成をすすめました

- コロナ禍の中、管理者研修や新入職員研修、新入職員基礎研修、全日本民医連総会方針学習会、通信教育等を創意工夫して推進しました。
- 医師確保の課題では、共立病院に2名、共立歯科に1名の常勤医師が着任されました。
- 介護人財確保は、2021年4月に新卒介護職員を4名採用しました。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげました

- 10月に千葉大学の近藤克則教授を講師に、「withコロナ時代の健康なまちづくり」をテーマに、オンラインで地域包括ケアセミナーを開催しました。
- 秋の生協強化月間は、事業利用委員会で論議し、組合員と職員が協同して推進しました。
- 姫路医療生協のSDGsの取り組みを広報しました。
- 通信教育は、組合員13名、職員75名が受講しました。



フレイル予防班会

2) 2021年度のすすめかた

1. 地域包括ケアを推進し、“最期まで安心の在宅サービス”を提供します

①共立病院の建て替えリニューアル、環境変化に対応した介護事業の規模拡大を計画的にすすめます

○共立病院の建て替えリニューアルは、2023年10月オープンをめざし、準備をすすめます。かかりつけ医⑧機能を担うとともに、訪問診療を重視した地域包括ケア病院（48床）、介護と医療の一体化を具体化します。利用者を増やし、採算の取れる病院づくりを実現します。開設場所は現在の敷地内、投資規模は概算で16億円+税を予定。

○2021年度に福祉介護センターあぼしの新築移転をおこないます。

○3か所目の福祉用具レンタルを網干地域に開設します。

○看護小規模多機能の新規開設申請準備（2022年度）をはじめ、福祉介護センター花北の移転、小規模多機能ホームふるさとの増改築等を検討します。

②地域包括ケアを推進し、“介護と医療の一体化”を実現します

○姫路医療生協の強みである“総合力”と“連携”をさらに活かします。

○「認知症」「1人暮らし」「中重度者」を在宅で支える機能を強化し、在宅生活の限界点を高めます。“尊厳ある在宅看取り”を重視します。



ご家族様とリモートで会話を楽しむ利用者様

○法人及び全事業所が感染症や災害に対するBCP（事業継続計画）を作成し、危機管理を強化します。

○行政や他団体との“顔の見える関係づくり”をさらに強めます。

③経営活動は、3つの柱（利用者増・コンプライアンス・サービスの質の向上）ですすめます

○2021年度の事業収益は52億9,180万円（前年比102.7%）、経常利益は1億9,903万円（経常利益率3.8%）を実現します。

○営業活動と広報活動を強化します。ICT(情報通信技術)の活用水準を引き上げます。

○内部統制システム⑨を強化し、人事部のしくみづくりと環境整備を推進します。

2. 人と人とのつながりと社会参加を大切にし、“くらしの安心ネットワーク”をひろげます

①SDGs（持続可能な開発目標）を学び、健康づくり、助け合い活動をひろげます

○趣味や特技を生かした楽しい活動を計画します。フレイル・オーラルフレイル予防をひろげます。

○子育て世代や子どもの参加は、子ども食堂や生協マルシェ、読み聞かせサークルなどの活動をひろげます。

○「介護と医療の相談窓口」（仮称）ステッカーを作成し、地域の困りごとを助け合いや事業サービスにつなげます。

○支部の世話人づくりとともに、地域で生活を支える「くらしの支えあいの会はなちゃん」の支援会員や事業所ボランティアを増やします。

○事業利用委員会は、「キラリハート」の取り組み、事業所と組合員（地域）の協同を重視します。



英賀・津田支部のグラウンドゴルフ



ハロウィンパーティー

②今日的な組合員活動の見直し、改善をはかります

○新型コロナ感染予防対策を周知し、新しい生活様式を定着させます。

○「組合員や地域住民から“要望”や“困った”が出されたら全力応援！」の活動スタイルを確立します。

○「スマホの使い方班会」等を開催し、オンラインと対面活動を組み合わせた地域活動を創造します。

○仲間ふやし1,500名（純増700名）、出資金ふやし1億円（純増5,000万円）、支部運営委員10名をめざします。全事業所が組合員利用率50%以上を実現し、組合員利用率のアップに取り組みます。

③くらしと平和を守る活動をすすめます

○憲法・平和・人権を守る活動を推進します。

○2021年1月22日、国連で核兵器禁止条約が発効されました。日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める運動をすすめます。

○原発ゼロの実現、再生可能エネルギーへの転換をめざします。

○西播社会保障推進協議会の自治体キャラバンに積極的に参画します。

3. “地域包括ケアを担う人づくり”をすすめます

①“キャリアアップ育成システム”の確立をはかります

○法人として、キャリアアップ育成システムを確立し、全事業所でOJT（職場内研修）を通じた人財育成を推進します。

○“個人の成長”と“やりがい”を実感できる職場づくりを推進します。

○ハラスメントのない職場づくりを実現します。

○職員の離職防止、定着率アップをはかります。



ふれあいサロン

②人財の確保・育成、管理者・リーダーの育成を推進します

○医師確保は最重点課題と位置づけ、複数名の着任をめざします。

○2022年度新卒介護職員は、5名確保を目標とします。

○管理者・リーダー育成研修は、キャリアアップ育成システムに沿った研修を具体化します。全職員を対象にした研修を企画します。

○マネジメントの基本であるPDCAサイクルの運用を重視します。

○e-ラーニング（インターネットを利用した学習形態）の積極的活用をはかります。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげます

○“姫路医療生協の人物像”－「理念の実現」「挑戦」「社会貢献」を学び、自分の言葉で語り、事業と活動に活かします。

○イチ押し班会メニューを充実させ、活用をひろげます。

○医療福祉生協連発行の「comcom」（コムコム）、全日本民医連発行の「いつでも元気」の月刊誌を組合員・職員に普及し、事業と活動に活かします。

○通信教育の活用をはかります。

《語句の解説》

① 地域包括ケア

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり。介護、医療、生活支援・介護予防、住まいの切れ目のない一体的なサービス提供をすすめます。

② 地域包括ケア病床

急性期病院からの患者受け入れ、在宅復帰支援、在宅や施設での利用者の急性増悪時の受け入れ、リハビリの機能を併せ持った生活支援型病床

③ 看護小規模多機能

“訪問看護”に“通い”と“泊まり”のサービスを組み合わせた地域密着型の在宅サービス。中重度者の医療的ケアや尊厳ある在宅看取りニーズにお応えします。

④ コンプライアンス活動

生協本部の介護事業部職員が、各介護事業所を訪問し、法令順守の状況のチェックと評価をおこなう活動

⑤ オーラルフレイル予防

口腔機能の低下を予防する取り組み。健康寿命の延伸に大きく寄与します。

⑥ フードドライブ

食品ロスをなくすために、余った食品を必要な人に届ける取り組み

⑦ キラリハート

利用者様に喜ばれたイチ押し事例を各事業所がまとめ、組合員・職員の確信にし、ひろげる取り組み

⑧ かかりつけ医

病気のことについて、何でも相談できる身近な医師のこと

⑨ 内部統制システム

業務全般の適正さが確保できる仕組みをつくり、その仕組みに基づいて運営すること

2021年度 各部門・事業所の理念と重点課題

《姫路医療生協の理念》

その人らしく、気持ちよく生きる

共立病院

《理 念》利用者が満足できるより良いサービスを提供し、地域から信頼される病院をつくります

《重点課題》

- 現代の水準に見合ったサービスを地域住民へ提供するため、早期の病院建て替えを今後の最重点課題として位置付けます。
- 地域住民の在宅生活を支える病院として、地域包括ケア病床の機能を医療活動の中心に位置付けます。
- 職業人としてあるべきふるまいを常に心がけ、すべての関係者が満足できるような職員の接遇対応を実現します。
- 地域の医療機関や介護事業所との連携をさらに向上させます。

ヘルスコープあぼし診療所

《理 念》安心・安全の介護・医療連携で、利用者様へ満足度の高いサービスを提供します
《重点課題》

- 在宅医療充実のための医師確保と終末期まで対応ができる診療所づくりをすすめます。
- 引き続き感染対策を強化し、診療の継続、収入の確保、職員の雇用確保をはかります。
- 新型コロナウイルスワクチンの実施医療機関となり、かかりつけ医として公衆衛生にかかわります。

共立歯科

《理 念》口はいのちの入り口 健康の入り口
～生涯口から食べる楽しみをサポートします～

《重点課題》

- 地域包括支援ケアシステムにおける歯科の役割を果たし、在宅歯科診療をひろげます。
- 地域の医療機関や介護事業所との連携を深めICTを利用し、口腔ケアの技術向上に努めます。
- 安心安全な治療を提供し、安定した経営を行います。
- すべての分野で選ばれる歯科を目指し接遇の向上に努めます。
- 人材育成に取り組み働きやすい職場づくりに努めます。

居宅介護支援事業所

《理 念》ふれ愛 ささえ愛 みとめ愛 とともに生きる

《重点課題》

- ICTの有効活用で、業務の効率化・ケアマネジメントの質の向上を図り、質の高いサービス提供を行い利用者増に努めます。
- SDGsに積極的に取り組み、地域包括ケアシステムのもと安心して暮らし続けられるまちづくりを進めます。
- 介護報酬改定でのコンプライアンスの徹底を図り、介護と医療の一体的な事業経営を目指します。

姫路市増位・広嶺地域包括支援センター

《理 念》地域で共に支え合い、共に生きる

《重点課題》

- 感染症や災害への対応力強化に取り組みます。
- 地域住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な相談・援助を円滑に行います。
- 多世代でつながり、相互に役割を持ち、支える『地域づくり』に取り組みます。
- 多面的支援の充実と地域住民による支え合い、地域資源、公的支援をコーディネートし、切れ目のない支援を実現できるような『地域づくり』に取り組みます。
- 地域で楽しみや生きがいを見出せるような『地域づくり』に取り組みます。

訪問看護ステーション

《理 念》住み慣れた地域でその人らしく最期まですごせるように、安心・安全・こころあたたまる看護を提供します

《重点課題》

- 医療依存度の高い方の受け皿とした看護小規模多機能型居宅介護事業所を多くの利用者様が利用できるように運営します。
- 定期巡回・随時対応サービス、小規模多機能との連携に努め、共に健全で安定した経営を行います。
- 在宅看取り体制を強化するにあたり、利用者本人の意思決定を基本に多職種連携を図ります（アドバンス・ケア・プランニング）。
- 地域包括ケアを担う人づくりをすすめ、あらゆる疾病のご利用者様のニーズに応じた訪問看護、リハビリテーションを提供し、より良い在宅療養をサポートします。
- 暮らし・平和・人権を守る活動を通じ、地域との交流を図り、選ばれるステーションをめざします。
- ICTの利活用により、柔軟な働きがしやすい環境づくりを強化し効率化を目指します。

看護小規模多機能

《理 念》住み慣れた地域でその人らしく過ごすことができるよう医療と介護の両面をサポートします。

《重点課題》

- 利用者様自らが選択した場所で、安心して最期まで暮らしつづけられるよう多種多様で柔軟な対応と安定した運営を図ります。
- 看護・介護ともに必要な知識と技術を磨き、質の高いサービスの充実に努め一人ひとりに寄り添います。
- 近隣の医療機関と連携し、地域住民と交流を図り、信頼される事業所を目指します。

定期巡回・随時対応サービス

《理 念》「いつでもつながる安心」を提供し、その人らしい暮らしをささえます

《重点課題》

- 定期巡回サービスを、更に多くの人に知っていただくために、広報活動や営業活動を継続し、利用者増に繋がります。
- 利用者様の意向や生活状況を把握した上で、自立支援を促進し、他職種と連携し、ICT(情報通信技術)を活用しながらサービスの質の向上を目指します。
- 事務所内のムリ・ムラ・ムダを無くし、職場の労働環境を整備することで、業務の効率化を図ります。
- コンプライアンスを徹底します。

ヘルパーステーション

《理 念》笑顔ある暮らしに寄り添います

《重点課題》

- 利用者様の重度化防止と自立した在宅生活の継続を目指します。
- コンプライアンスの徹底を基盤とし、事業経営活動を発展させます。
- ICT(情報通信技術)を活用しながら他職種との連携を図り、サービスの質の向上を目指します。
- 職責者やサービス提供責任者・ヘルパーの人材育成を進め、職員が成長や働きがいを実感できる職場づくりを推進します。

リハビリテーション

《理 念》 全ての人にリハビリを提供します

《重点課題》

- 病院を入退院する際のリハビリ情報の具体化を図り、情報の提供と共有で病院と在宅をつなげ、介護と医療の一体化を実践します。
- ICT活用と業務の見える化を促進し、より多くの利用者様にリハビリが提供できるよう努めます。
- 感染症対策を徹底し、安心してリハビリを利用頂けるよう努めます。
- リハビリテーション・栄養・口腔機能を一体的に運用することで、自立支援や重度化防止の取り組みを推進します。

通所リハビリ

《理 念》 一人ひとりを大切に その人らしさをサポートします

《重点課題》

- 新規利用者様の獲得を図り、安定した経営を目指します。
- 通所と訪問の一体的運営を推進し、満足度の高いリハビリを提供します。
- ハラスメントのない「気持ちよく利用できる事業所」、「働きやすい職場」を目指します。

デイサービス

《理 念》 人が出会い「笑い」が生まれる

《重点課題》

- 医療生協の強みを活かした班会活動などを通して、地域とのつながりの場を提供します。
- 認知症対応・機能訓練・口腔・栄養の取り組みに多職種で関わり、科学的評価に基づく質の高いサービスを提供し、選ばれる事業所を目指します。
- 新設加算の積極的な算定を行い、重度化防止に努め、在宅生活の継続を支えます。
- 感染症や災害などの不測の事態にも対応し、安定した事業運営を継続します。
- ICTの更なる活用により、情報共有と連携強化、業務の効率化を図ります。

小規模多機能ホーム

《理 念》 一人ひとりに寄り添う 地域に寄り添う

《重点課題》

- 利用者の尊厳を守り地域の生活者として支えます。
- すべての職員が生き活きと活躍できる職場を作ります。
- 地域住民の安心拠点として健全な事業を継続します。

ショートステイつどい

《理 念》人がつどい『笑顔』が生まれる

《重点課題》

- 「介護過程を理解し考えるケア」が実践できる人づくり
- 事業費用の削減と利用者確保で「黒字」を目指します。
- ハラスメントのない「やりがいのある職場」を作ります。

グループホームめが

《理 念》思いやりの心で、ひとりひとりの「生きる」を支えます

《重点課題》

- 利用者の尊厳が守られた認知症ケアを実践します。
- 近隣住民と交流を行い、地域とのつながりを大切に選ばれる事業所を目指します。
- 職員一人ひとりの強みが発揮できるよう働きがいのある職場づくりに努めます。

福祉用具レンタル

《理 念》個性ある住みよい暮らしの演出をお手伝いします

《重点課題》

- 利用者様の意向や身体を把握し、ニーズに応えた福祉用具を提案します。
- ICFに基づき、その人らしい生活が継続できるよう多職種との連携をはかります。
- 地域包括ケアを担う事業所の一つとして、質の高いサービス提供に努めます。

訪問入浴サービス共立

《理 念》安心・快適をモットーに体と心温まる訪問入浴サービスをお届けします

《重点課題》

- 利用者のニーズを受け止め、その人らしく寄り添った訪問入浴をお届けします。
- 多死社会における「尊厳ある在宅看取り」に貢献します。
- ICTを活用して効率的で効果的な職場運営を行い、黒字経営を目指します。

生協本部

《理 念》一人ひとりに、正確・迅速・思いやりのあるサービスを提供します

《重点課題》

- 人材を確保・育成し、事業の発展に貢献します。
- 職員の離職防止、定着率アップをはかり、“安心して働ける事業所づくり”に貢献します。
- 介護職員キャリアアップ育成システムの確立を推進します。
- 健康づくり、認知症見守りサポート、助け合い、つながりを重視した地域活動をひろげ、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。
- ICT（情報通信技術）を活用し、法人の情報共有・発信・連携を強化します。